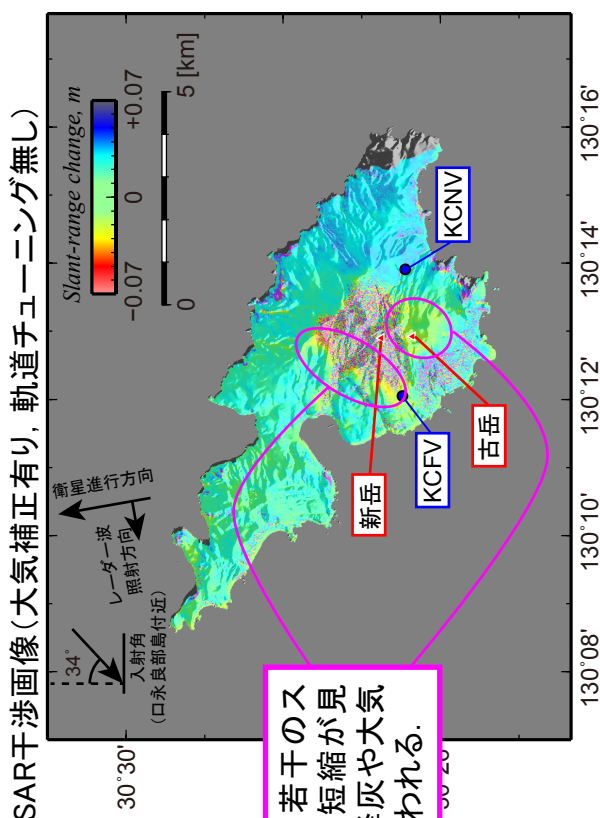
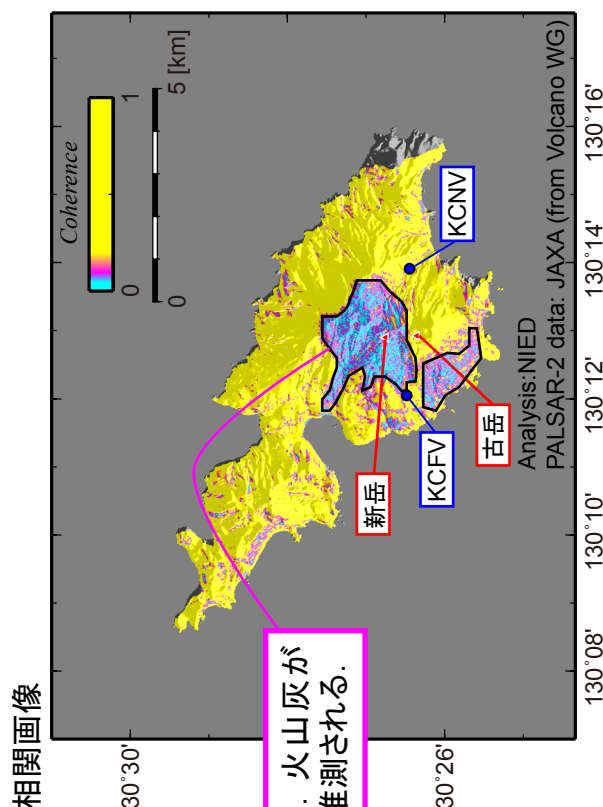


口永良部島に関するPALSAR-2データの解析結果

衛星／センサー：だいち2号／PALSAR-2
軌道／観測方向：北行軌道／左方向視
観測日：2015/1/23, 2015/5/29(23:43JST)

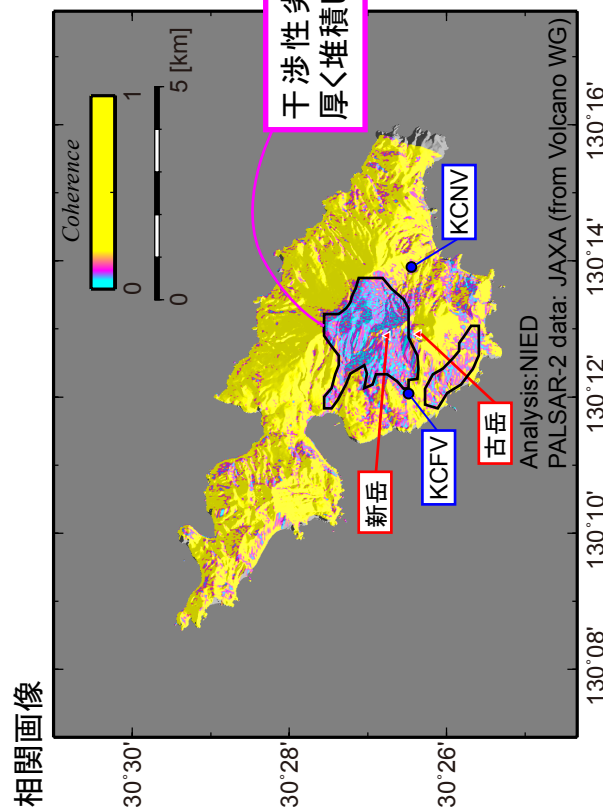
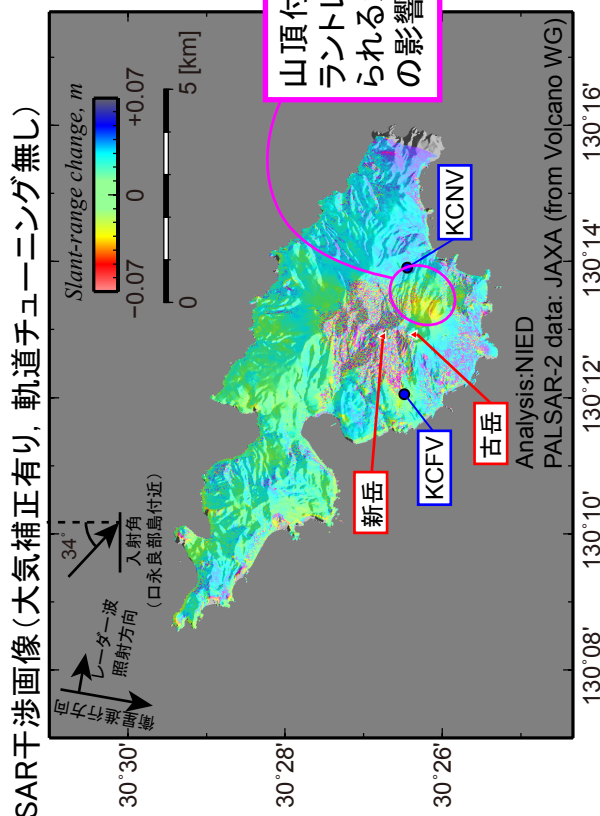


山頂付近に若干のス
ラントレンジ短縮が見
られるが、降灰や大気
の影響が疑われる。



干渉性劣化域、火山灰が
厚く堆積したと推測される。

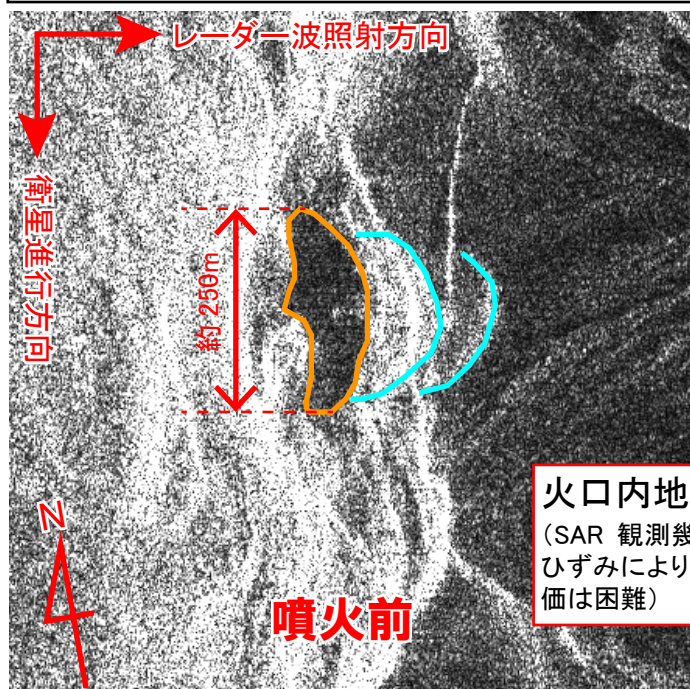
衛星／センサー：だいち2号／PALSAR-2
軌道／観測方向：南行軌道／左方向視
観測日：2014/11/14, 2015/5/29(12:53JST)



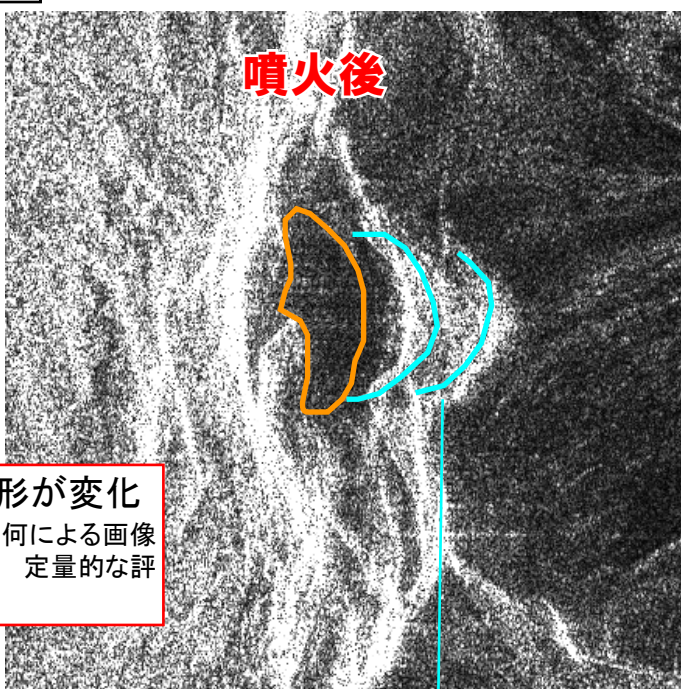
謝辞. 本解析で使用したPALSAR-2データは、防災利用実証実験火山WGからの観測要求に基づいて観測されたものであり、配布されたものである。PALSAR-2データの所有権は宇宙航空研究開発機構(JAXA)にある。解析および図の作成においては、国土地理院の10mメッシュ標高を使用した。

衛星／センサー: だいち2号／PALSAR-2
軌道／観測方向: 南行軌道／左方向視
観測日: 2014/11/14, 2015/5/29(12:53JST)

最大解像度での表示のため、縦横比を合わせていない。上下方向の距離は衛星進行方向に対する水平距離に一致するが、横方向は衛星－地表間距離に対応することに注意

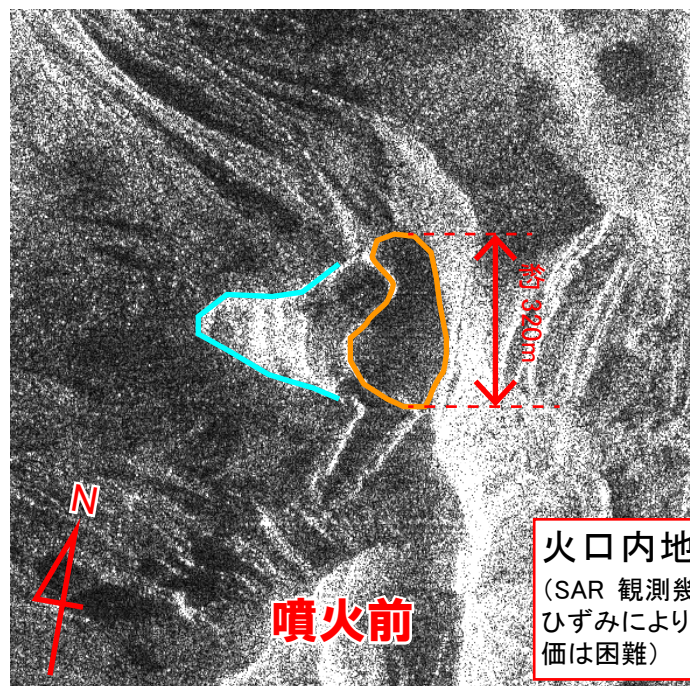


火口内地形が変化
(SAR 観測幾何による画像ひずみにより、定量的な評価は困難)

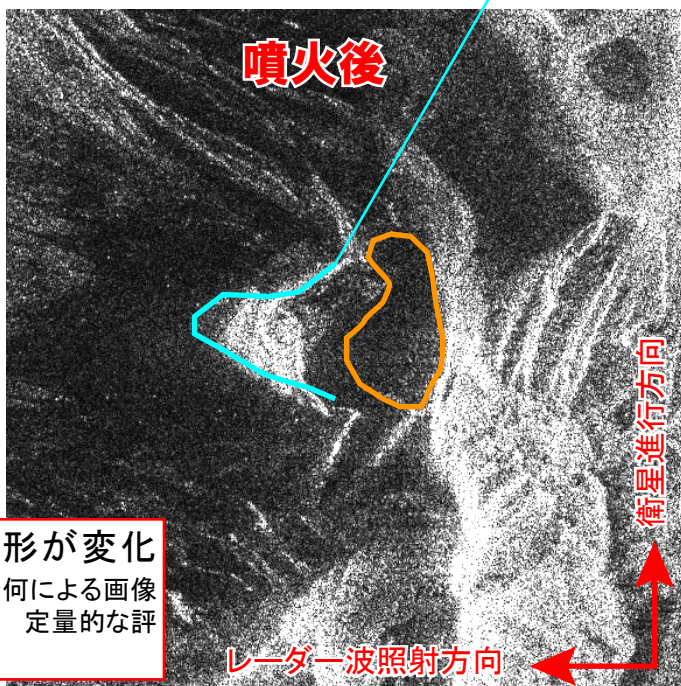


衛星／センサー: だいち2号／PALSAR-2
軌道／観測方向: 北行軌道／左方向視
観測日: 2015/1/23, 2015/5/29(23:43JST)

レイオーバーの形状も変化している

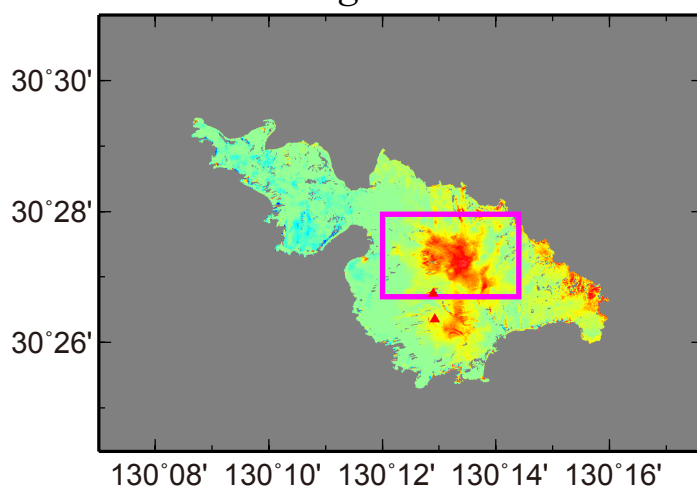


火口内地形が変化
(SAR 観測幾何による画像ひずみにより、定量的な評価は困難)

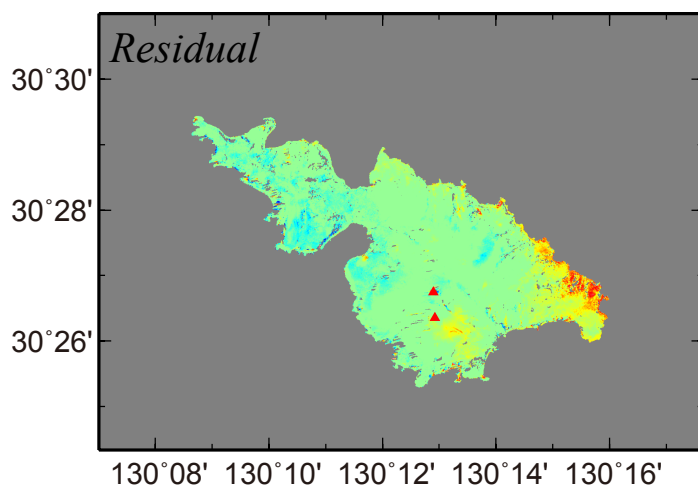
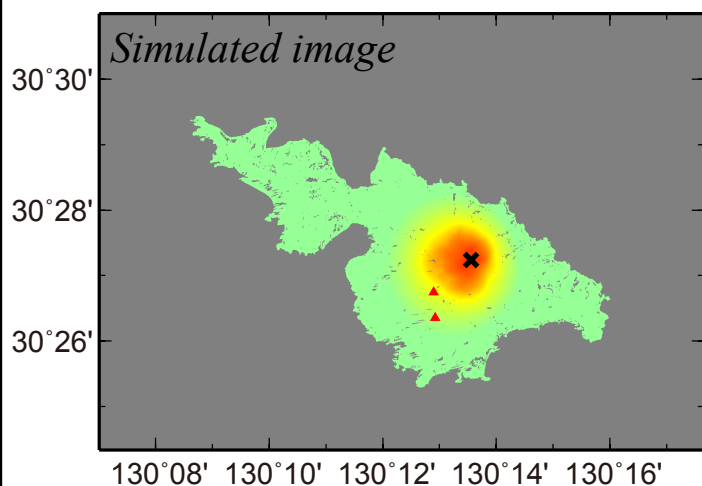


謝辞. 本解析で使用したPALSAR-2データは、防災利用実証実験火山WGからの観測要求に基づいて観測されたものであり、配布されたものである。PALSAR-2データの所有権は宇宙航空研究開発機構(JAXA)にある。解析および図の作成においては、国土地理院の10mメッシュ標高を使用した。

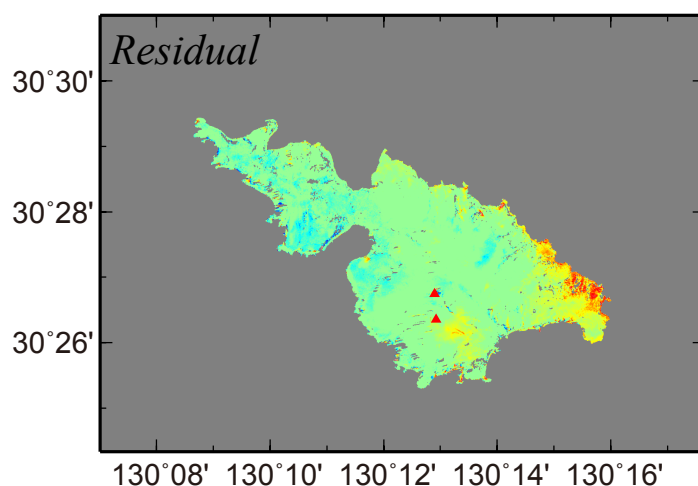
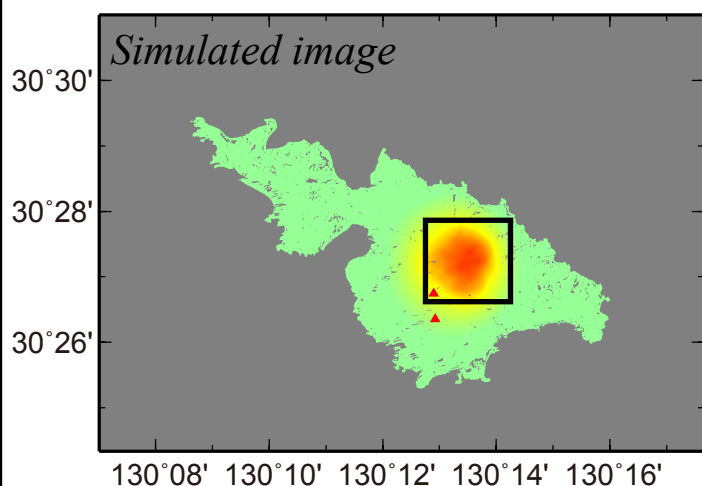
2015/3/3–2015/5/26の地殻変動に関するモデル

Observed image

*Point source model: Lon.:130.226°E, Lat.:30.454°N, Dep.:1700m,
 $\Delta V:5.7 \times 10^5 m^3$, Strike:N0°E (Fix), Dip:0°(Fix)*



*Rectangle sill model: Lon.:130.225°E, Lat.:30.454°N (center), Dep.:750m, Length:
2.3km, Width:2.4km, Open: 0.076m ($\Delta V:4.2 \times 10^5 m^3$, Strike:N0°E (Fix), Dip:0°(Fix)*



謝辞. 本解析で使用したPALSAR-2データは、防災利用実証実験火山WGからの観測要求に基づいて観測されたものであり、配布されたものである。PALSAR-2データの所有権は宇宙航空研究開発機構(JAXA)にある。解析および図の作成においては、国土地理院の10mメッシュ標高を使用した。